

新 名 誉 会 員 の 紹 介

長谷川利治 氏

昭和9年5月23日生れ(工学博士)

現住所 名古屋市昭和区

本籍 岐阜県



長谷川利治氏は、長年通信・計算機工学分野へのORの応用に関する教育・研究に励まれました。特に京都大学工学部および大学院工学研究科においては学部・大学院生の指導・育成に携わり、専門的教育のみならず、広範な識見に裏打ちされた高い視点からの助言を授けられ、現在多くの門下生がORの知識を活用して多方面で活躍しております。またご自身の修士課程での留学経験を基に、研究成果・研究者の国際的交流の重要性を早くから指摘され、その薫陶を受け、欧米の論文誌・国際会議で要職を務める研究者も数多く存在します。またご自身もIFORSの副会長、数多くの国際会議の議長など、要職を歴任されました。

インターネットを支える基本技術であるパケット交換が1960年代初頭に欧米において提案され、L. Kleinrock教授(現在UCLA)がこれを基にArpanetを構築し、さらにネットワーク設計のための基礎理論として“Queueing Systems vol. 1 and vol. 2”を出版したことは良く知られています。同時期に長谷川氏がパケット交換と同じアイデアを提案していたことは門下生の良く知る事実でもあります。さらに同氏が京都大学数理解析研究所において待ち行列に関する研究集会を数回開催し、その後これがシンポジウムとして継承されているのも、興味ある一致であります。

他に貢献された分野としては3値計算機の開発、さらにはその延長として多値論理に関する研究、加えて交通システムに関する研究があり、その実際への応用の一例としては、阪神高速道路公団において、その交通管制システムに関して長年専門家として、指導・助言を与えてこられました。

当学会会長在任時には、持ち前の国際性と行動力で世界各地を回られ、海外学協会との交流に務められ、本学会の国際的認知度を高めることに努力されました。本学会は、同氏のご功績をたたえ、去る3月19日

の臨時総会において、同氏に本学会名誉会員の資格を授与することを満場一致で議決しました。ここにご報告を兼ね、同氏に対して心からの感謝の意を表したいと思います。

略 歴

- 昭和32年3月 大阪大学工学部通信工学科卒業
- 昭和34年3月 同 大学院工学研究科通信工学専攻修士課程修了
- 昭和37年6月 米国 ジョンズ・ホプキンス大学マスターオブサイエンス修得
- 昭和38年3月 大阪大学大学院工学研究科通信工学専攻博士課程単位取得退学
- 同 年4月 大阪大学工学部通信工学科助手
- 昭和40年4月 京都大学工学部数理工学教室助教授
- 昭和47年12月 同 教授
- この間、京都大学情報処理教育センター長、大型計算機センター長併任
- 平成10年3月 京都大学退官(名誉教授)
- 平成10年4月 南山大学経営学部情報管理学科教授
- 平成12年4月 同 数理情報学部情報通信学科教授及び学部長

OR 学会関係

- 理事 昭和49・50年度、関西支部長 昭和58・59年度、評議員 昭和51~平成元年度、平成4・5年度、平成10・11年度、代議員 平成14・15年度、副会長 平成元・2年度、フェロー 平成4年度、IFORS副会長 平成7~9年度、会長 平成12・13年度